

平成28年度 学年 [ 1年 ] 教科 [ 公民 ]

科目・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
現代社会	2	文理・生命科学	ABCDE	山内 宏之
目 標	①現代社会の特質と社会生活の変化を知る。 ②おもな政治体制や民主政治のあり方を理解し、政治参加の意義を考えることができる。 ③青年心理や自己形成の課題を知ることで自らを省みる。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	知識・理解
	授業への積極性や、提出物がきちんと出ているかを見ます。ノートは定期テストごとにノートを提出させ確認していきます。	ただ覚えるのではなく、ヒントを与えて自分で答えを導いていけるような発問を心がけていきます。定期テストでも、思考力を問う問題も出題していきます。	写真や図表などの資料を授業中に見ることで、多角的な視点から考えていくことができるよう工夫していきます。	問題演習によって基本事項の定着を図ります。新聞やニュースを見ることを習慣化させ、現代社会の諸問題について注目させます。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	・民主政治における個人と国家	・国家成立の思想を理解し、個人と国家との関係を考えます。
	期末	・基本的人権と法の支配 ・世界のおもな政治体制 ・日本国憲法の基本原理	・法の支配、基本的人権の保障などについて理解します。 ・世界の政治体制を知り、真の民主政治実現について考えます。 ・憲法の基本原理について理解します。
二学期	中間	・平和主義と安全保障 ・基本的人権の保障と新しい人権 ・国民主権と議会制民主主義 ・内閣と行政の民主化	・平和主義実現のために自らができることを考えます。 ・基本的人権と公共の福祉などを理解します。 ・議会制民主主義の本質を知り、二院制の意義を考えます。 ・議院内閣制の仕組みを理解します。
	期末	・裁判所と人権保障 ・地方自治と住民の福祉 ・世論形成と政治参加	・裁判の仕組みや司法権について理解します。 ・「地方自治は民主主義の学校」の意味を考え、理解します。 ・政治参加の意義と課題について理解します。
三学期	期末	・青年期の意義と自己形成の課題 ・現代社会における青年の生き方 ・伝統や文化と私たちの生活 ・科学技術の発達と生命倫理 ・高度情報化社会と私たちの生活	・青年期の精神的な特徴を知ることで自己を見直すきっかけを作ります。 ・伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考えます。 ・科学技術の発達に伴う生命操作を考えます。 ・高度情報社会が及ぼす影響を知ります。
評 価 の 方 法		定期テスト、提出物、ノートの完成度で評価します。	
学 習 活 動 の 特 徴		教師の講義を中心として基本事項を理解していくとともに、現代社会の様々な出来事を資料や日常の経験から考察し、学習を深めていきます。また新聞を活用し、社会で起こる事象に関心をもたせる取り組みを考えていきます。	
授 業 の 形 態		ホームルーム単位の一斉授業、講義形式	
使 用 教 科 書		『高等学校 現代社会』（第一学習社）	
使 用 副 教 材		『最新図説 現社』（浜島書店）『現代社会ノート』（第一学習社）	
用 意 す る も の		教科書・副教材・授業ノート	
備 考		長期休暇の時にレポート形式の課題を出す場合があります。	